

景況感、3期連続の改善

香川県内企業経営動向調査（平成25年12月実施）

概要

今期(平成25年10～12月期)の業況判断指数(BSI)は6.8となり、前期(平成25年7～9月期)実績の△5.2から12.0ポイント改善した。前年同期(24年10～12月期)実績の△17.4は24.2ポイント上回る水準である。

項目別の判断指数は全9項目のうち、前期より上昇した指数は、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、設備投資、雇用、採算の8項目である。

来期(平成26年1～3月期)の業況判断指数(BSI)の見通しは△6.1となり、今期(25年10～12月期)実績の6.8から12.9ポイント悪化となるも、前年同期(25年1～3月期)実績の△18.1は12.0ポイント上回る水準である。

項目別の判断指数は全9項目のうち、今期より低下する見通しの指数は、受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、雇用、採算の7項目である。

概況 今期の香川県内企業の業況判断指数(BSI)は、消費増税前の駆け込み需要などを背景に、製造業、非製造業とも前期に比べ改善、指数は全産業ベースで3期連続の上昇となり、平成2年10～12月期以来、92期ぶりに指数がプラスとなった。

来期は季節的な需要の減少に加え、26年4月からの消費増税を目前に控え、景気の先行きについて慎重な見方もあり、指数は再びマイナスに転じる見通しである。

期	平成24年			平成25年		前期	今期	来期
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成26年 1～3月
製造業	(△ 10.4)	(△ 18.5)	(△ 7.8)	(△ 31.5)	(△ 2.7)	(2.6)	(5.2)	(△ 9.3)
	△ 17.3	△ 24.7	△ 13.7	△ 25.3	△ 7.9	△ 5.2	5.3	
非製造業	(△ 18.3)	(△ 16.5)	(△ 28.9)	(△ 18.4)	(5.0)	(△ 1.3)	(9.2)	(△ 2.7)
	△ 20.3	△ 30.1	△ 21.1	△ 11.3	△ 11.5	△ 5.3	8.2	
全産業	(△ 14.5)	(△ 17.5)	(△ 18.8)	(△ 24.8)	(1.3)	(0.6)	(7.2)	(△ 6.1)
	△ 18.8	△ 27.5	△ 17.4	△ 18.1	△ 9.7	△ 5.2	6.8	
前年同期比(差異)	17.8	△ 10.0	△ 0.4	4.5	9.1	22.3	(24.2)	(12.0)

B S I : Business Survey Index の略で、企業動向の現状と見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したもの。次の算式により求める。

$$B S I = X - Y$$

X : 「好転(増加)」と回答した企業の割合
Y : 「悪化(減少)」と回答した企業の割合

※回答は、①好転(増加)、②不変、③悪化(減少)から1つ選択

(注)本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

- ・前期：平成25年7～9月、今期：平成25年10～12月、来期：平成26年1～3月
- ・Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

I. 項目別 BSI

1. 業界業況判断 BSI

3期連続で改善も、来期は悪化の見通し。

<今期実績(平成25年10~12月期)>

今期の業界業況判断 BSI は、6.8 で、前期 (25年7~9月期) 実績の△5.2 から 12.0 ポイント上昇し、3期連続で改善した。前年同期 (24年10~12月期) 実績の△17.4 は 24.2 ポイント上回る水準。

業種別では、製造業が 5.3 となり、前期実績の△5.2 から 10.5 ポイントの改善。製造業全 8 業種のうち、食料品、化学工業・石油製品、金属製品、輸送用機械器具、その他製造業の 5 業種で指数が上昇した。

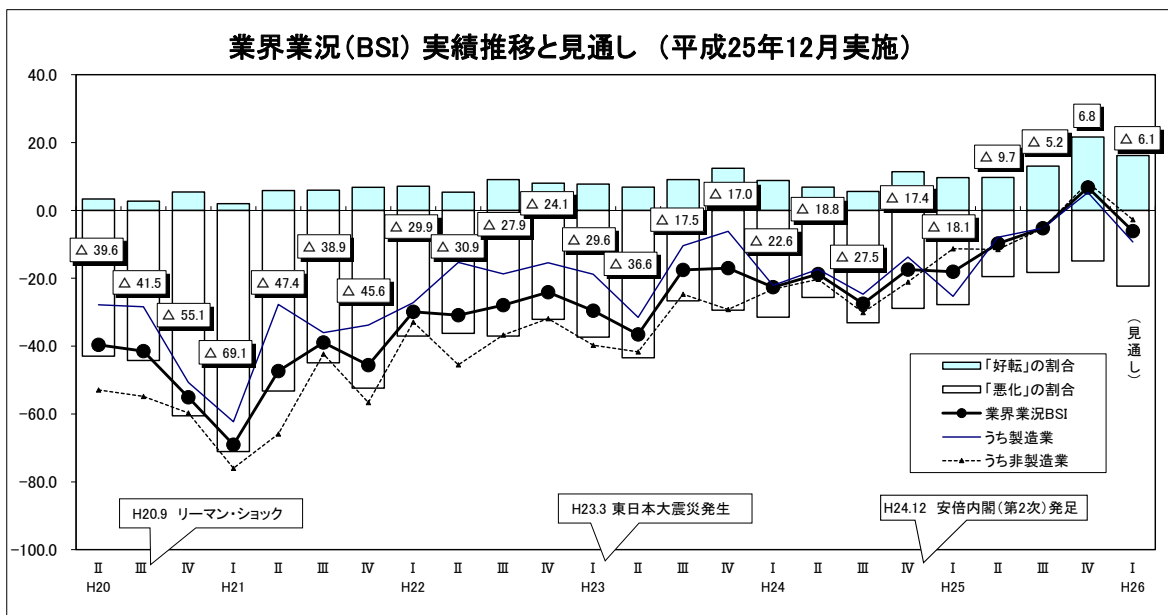
非製造業は前期の△5.3 から今期の 8.2 へと 13.5 ポイント改善した。非製造業全 5 業種のうち、建設業、卸売業、小売業、サービス業その他の 4 業種で指数が上昇した。

<来期見通し(平成26年1~3月期)>

来期の業界業況判断見通し BSI は△6.1 で、今期 (25年10~12月期) 実績 6.8 より 12.9 ポイントの悪化の見通しも、前年同期 (25年1~3月期) 実績は 12.0 ポイント上回る水準である。

業種別では、製造業が△9.3 となり、今期実績の 5.3 から 14.6 ポイントの悪化の見通し。製造業全 8 業種のうち、食料品、木材・木製品、金属製品、輸送用機械器具、その他製造業の 5 業種で指数が低下する見通しである。

非製造業は△2.7 となり、今期実績の 8.2 から 10.9 ポイントの悪化の見通し。非製造業全 5 業種のうち、小売業、サービス業その他の 2 業種で指数が低下する見通しである。



■業界業況判断指数（各期比較）

業種	実績値					見通し	増減			
	今期の前年同期	来期の前年同期	前期	今期	来期		今期(H25.10-12月)		来期(H26.1-3月)	
	(H24.10-12月)	(H25.1-3月)	(H25.7-9月)	(H25.10-12月)	(H26.1-3月)		前期比	前年同期比	今期比	前年同期比
	①	②	③	④	⑤	④-③	④-①	⑤-④	⑤-②	
製造業	△ 13.7	△ 25.3	△ 5.2	5.3	△ 9.3	10.5	19.0	△ 14.6	16.0	
食料品	△ 8.3	△ 27.3	△ 21.4	8.3	△ 8.3	29.7	16.6	△ 16.6	19.0	
繊維製品	14.3	△ 40.0	0.0	△ 10.0	0.0	△ 10.0	△ 24.3	10.0	40.0	
木材・木製品	20.0	△ 60.0	80.0	25.0	△ 25.0	△ 55.0	5.0	△ 50.0	35.0	
化学工業・石油製品	△ 42.9	△ 28.6	△ 20.0	△ 16.7	△ 16.7	3.3	26.2	0.0	11.9	
金属製品	△ 10.0	18.2	0.0	40.0	20.0	40.0	50.0	△ 20.0	1.8	
機械器具	△ 25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	△ 8.3	25.0	0.0	0.0	
輸送用機械器具	△ 60.0	△ 50.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 40.0	20.0	40.0	△ 20.0	10.0	
その他	△ 6.7	△ 43.8	△ 18.8	5.9	△ 23.5	24.7	12.6	△ 29.4	20.3	
非製造業	△ 21.1	△ 11.3	△ 5.3	8.2	△ 2.7	13.5	29.3	△ 10.9	8.6	
建設業	△ 15.4	26.7	23.1	25.0	41.7	1.9	40.4	16.7	15.0	
卸売業	0.0	0.0	△ 5.9	31.3	31.3	37.2	31.3	0.0	31.3	
小売業	△ 30.0	△ 25.0	△ 15.8	5.0	0.0	20.8	35.0	△ 5.0	25.0	
運輸業	△ 22.2	△ 20.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 15.0	△ 2.8	0.0	△ 5.0	
サービス業 その他	△ 33.3	△ 31.6	△ 11.8	△ 5.9	△ 58.8	5.9	27.4	△ 52.9	△ 27.2	
合計	△ 17.4	△ 18.1	△ 5.2	6.8	△ 6.1	12.0	24.2	△ 12.9	12.0	

2. 受注高判断 BSI

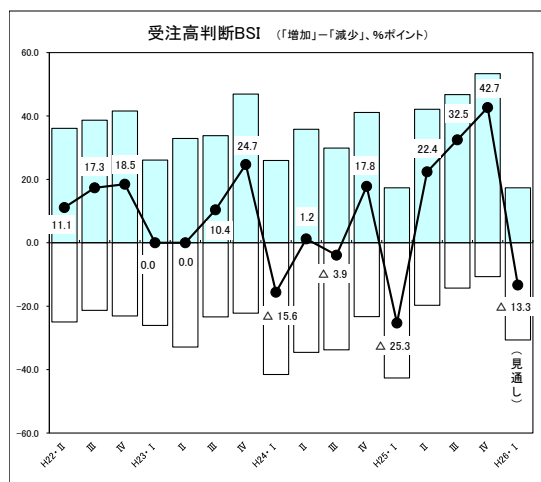
3期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

<今期実績(平成25年10~12月期)>

今期の受注高 BSI は 42.7 で前期実績 32.5 を 10.2 ポイント上回った。前年同期実績の 17.8 は 24.9 ポイント上回る水準である。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

<来期見通し(平成26年1~3月期)>

来期の受注高見通し BSI は△13.3 で今期実績の 42.7 から 56.0 ポイントの低下も、前年同期実績の△25.3 は 12.0 ポイント上回る水準である。指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	10.2	△ 56.0	24.9	12.0
食料品	14.3	△ 91.7	0.0	21.9
繊維製品	7.8	△ 30.0	30.0	△ 20.0
木材・木製品	△ 5.0	△ 125.0	35.0	30.0
化学工業・石油製品	16.7	△ 66.7	16.7	△ 21.4
金属製品	△ 4.5	△ 10.0	30.0	40.0
機械器具	△ 32.6	△ 27.3	0.8	△ 18.2
輸送用機械器具	20.0	△ 40.0	80.0	50.0
その他	52.2	△ 76.5	38.0	25.7
合計	10.2	△ 56.0	24.9	12.0

(注) 非製造業は調査対象外

3. 生産高判断 BSI

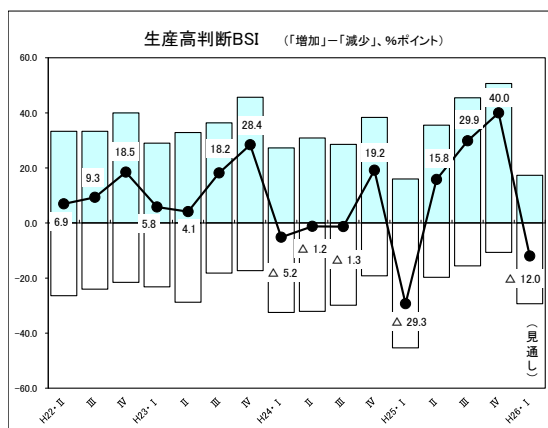
3期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の生産高 BSI は 40.0 で、前期実績 29.9 を 10.1 ポイント上回った。前年同期実績 19.2 は 20.8 ポイント上回る水準。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の生産高見通し BSI は△12.0 で今期実績 40.0 を 52.0 ポイント下回る見通しである。指数自体は 4 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	10.1	△ 52.0	20.8	17.3
食料品	42.9	△ 75.0	0.0	38.6
繊維製品	△ 36.7	△ 50.0	30.0	0.0
木材・木製品	35.0	△ 125.0	15.0	30.0
化学工業・石油製品	16.7	△ 66.7	16.7	△ 21.4
金属製品	△ 4.5	△ 10.0	20.0	30.9
機械器具	△ 32.6	△ 18.2	0.8	0.0
輸送用機械器具	0.0	△ 20.0	40.0	25.0
その他	46.3	△ 70.6	45.5	25.7
合計	10.1	△ 52.0	20.8	17.3

(注)非製造業は調査対象外

【売上高の増加・減少要因】

「売上高増加要因」の1位は『季節的な需要増加』の55.1%、次いで『景気動向』の21.3%。「減少要因」は1位が『季節的な需要減少』の59.3%、次いで『景気動向』の14.8%となっている。

4. 売上高判断 BSI

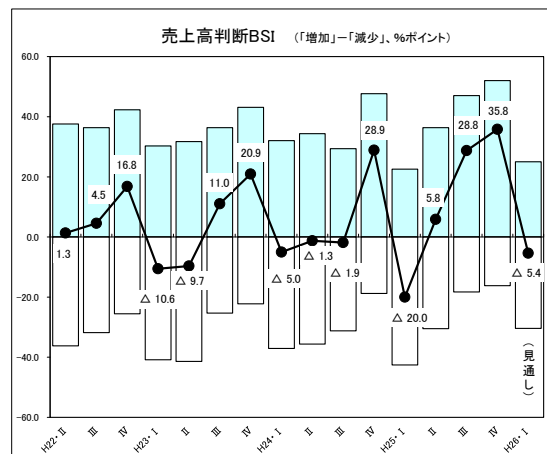
3期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の売上高 BSI は、製造業 44.0、非製造業 27.4、全産業で 35.8 となり、前期実績を 7.0 ポイント上回った。前年同期実績は 6.9 ポイント上回る水準。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の売上高見通し BSI は、製造業△16.0、非製造業 5.5、全産業で△5.4 となり、今期実績 35.8 を 41.2 ポイント下回り、指数自体も 4 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	10.2	△ 60.0	15.2	17.3
食料品	22.6	△ 108.3	0.0	40.9
繊維製品	△ 7.8	△ 100.0	△ 15.7	0.0
木材・木製品	△ 5.0	△ 125.0	55.0	50.0
化学工業・石油製品	16.7	△ 66.7	16.7	△ 21.4
金属製品	4.5	△ 10.0	10.0	30.9
機械器具	△ 34.1	18.2	△ 17.4	△ 18.2
輸送用機械器具	0.0	△ 20.0	40.0	30.0
その他	52.2	△ 76.5	38.0	32.0
非製造業	3.7	△ 21.9	△ 1.5	13.0
建設業	△ 37.1	33.3	△ 14.1	3.3
卸売業	39.0	△ 37.5	12.5	37.5
小売業	2.6	△ 50.0	25.0	15.0
運輸業	△ 5.0	25.0	△ 25.0	30.0
サービス業 その他	0.0	△ 35.3	△ 27.8	△ 9.0
合計	7.0	△ 41.2	6.9	14.6

5. 在庫高判断 BSI

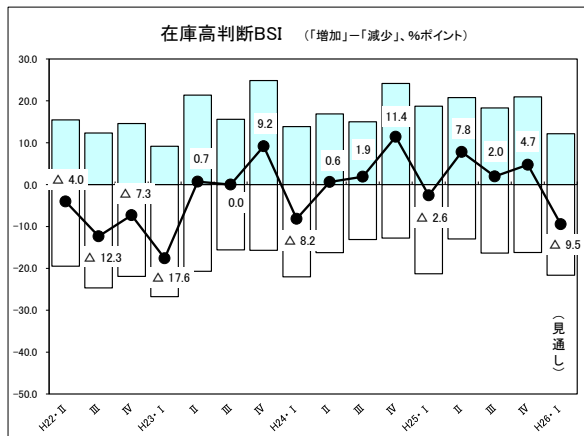
2期ぶりに増加も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の在庫高 BSI は、製造業 5.3、非製造業 4.1、全産業で 4.7 となり、前期実績の 2.0 を 2.7 ポイント上回った。前年同期実績は 6.7 ポイント下回る水準。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の在庫高見通し BSI は、製造業が $\Delta 8.0$ 、非製造業は $\Delta 11.0$ 、全産業では $\Delta 9.5$ となり、今期実績を 14.2 ポイント下回り、指数自体も 4 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	◆在庫高判断 (増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	0.1	$\Delta 13.3$	$\Delta 2.9$	$\Delta 5.3$		
食料品	27.4	25.0	$\Delta 25.0$	16.7		
繊維製品	$\Delta 54.4$	10.0	47.1	$\Delta 10.0$		
木材・木製品	$\Delta 40.0$	$\Delta 50.0$	$\Delta 60.0$	50.0		
化学工業・石油製品	16.7	$\Delta 16.7$	$\Delta 11.9$	$\Delta 28.6$		
金属製品	10.9	0.0	10.0	29.1		
機械器具	9.9	$\Delta 54.6$	18.2	$\Delta 27.3$		
輸送用機械器具	20.0	0.0	0.0	0.0		
その他	$\Delta 6.6$	$\Delta 29.4$	$\Delta 7.4$	$\Delta 36.0$		
非製造業	5.4	$\Delta 15.1$	$\Delta 10.4$	$\Delta 8.5$		
建設業	9.0	$\Delta 25.0$	$\Delta 6.4$	$\Delta 21.6$		
卸売業	$\Delta 18.4$	6.2	$\Delta 43.8$	6.2		
小売業	9.5	$\Delta 40.0$	0.0	$\Delta 15.0$		
運輸業	10.0	0.0	0.0	0.0		
サービス業 その他	17.6	$\Delta 5.9$	$\Delta 0.3$	$\Delta 6.5$		
合計	2.7	$\Delta 14.2$	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.9$		

6. 資金繰り判断 BSI

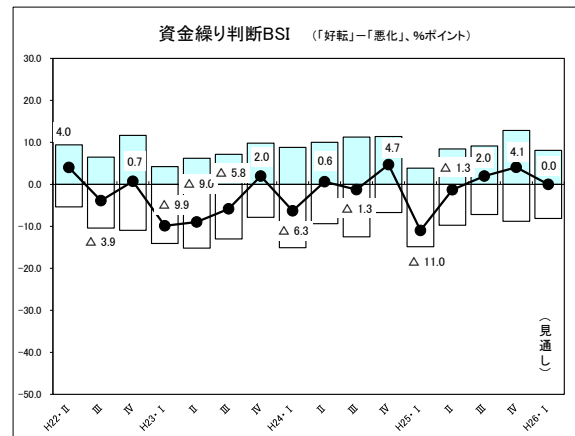
3期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の資金繰り BSI は、製造業が 4.0、非製造業が 4.1、全産業では 4.1 となり、前期実績を 2.1 ポイント上回った。前年同期実績は 0.6 ポイント下回る水準。指数自体は 2 連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の資金繰り見通し BSI は、製造業が 6.7、非製造業が $\Delta 6.8$ 、全産業では 0.0 となり、今期実績を 4.1 ポイント下回るも、指数自体はマイナス指数とならない見通し。



業種	◆資金繰り判断 (増減)		各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期
製造業	1.4	2.7	$\Delta 4.2$	17.4		
食料品	$\Delta 1.2$	8.3	$\Delta 25.0$	27.3		
繊維製品	10.0	0.0	$\Delta 18.6$	20.0		
木材・木製品	5.0	$\Delta 50.0$	$\Delta 15.0$	15.0		
化学工業・石油製品	$\Delta 16.7$	16.7	$\Delta 2.4$	0.0		
金属製品	20.0	0.0	10.0	38.2		
機械器具	$\Delta 7.6$	$\Delta 18.2$	9.1	$\Delta 9.1$		
輸送用機械器具	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	0.0	23.5	0.0	23.5		
非製造業	2.8	$\Delta 10.9$	2.8	4.5		
建設業	0.0	0.0	7.7	$\Delta 6.7$		
卸売業	6.6	$\Delta 18.8$	0.0	0.0		
小売業	$\Delta 5.3$	0.0	5.0	20.0		
運輸業	0.0	0.0	11.1	0.0		
サービス業 その他	11.8	$\Delta 29.4$	$\Delta 5.2$	2.8		
合計	2.1	$\Delta 4.1$	$\Delta 0.6$	11.0		

7. 銀行借入判断 BSI

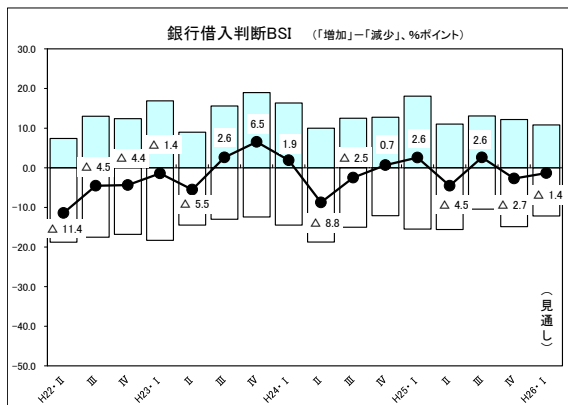
2 期ぶりに低下も、来期は上昇の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の銀行借入 BSI は、製造業が 1.3、非製造業が△6.8、全産業では△2.7 となり、前期実績を 5.3 ポイント下回った。前年同期実績は 3.4 ポイント下回る水準。指数自体は 2 期ぶりのマイナス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の銀行借入の見通し BSI は、製造業が△4.0、非製造業が 1.4、全産業では△1.4 となり、今期実績を 1.3 ポイント上回るも、指数自体は 2 期連続のマイナス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	△ 14.3	△ 5.3	5.4	△ 8.0
食料品	△ 6.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 8.3
繊維製品	△ 24.4	△ 40.0	34.3	△ 20.0
木材・木製品	△ 40.0	25.0	40.0	△ 15.0
化学工業・石油製品	20.0	16.7	0.0	16.7
金属製品	△ 28.2	0.0	0.0	△ 19.1
機械器具	△ 8.3	9.1	8.3	18.2
輸送用機械器具	20.0	0.0	40.0	25.0
その他	△ 24.7	△ 5.9	△ 5.9	△ 24.3
非製造業	3.7	8.2	△ 12.1	0.1
建設業	16.7	△ 8.4	△ 14.1	1.6
卸売業	△ 7.0	31.3	△ 6.3	18.8
小売業	0.5	10.0	△ 30.0	△ 5.0
運輸業	0.0	△ 25.0	0.0	△ 15.0
サービス業 その他	11.7	11.8	△ 0.7	△ 5.3
合計	△ 5.3	1.3	△ 3.4	△ 4.0

8. 設備投資判断 BSI

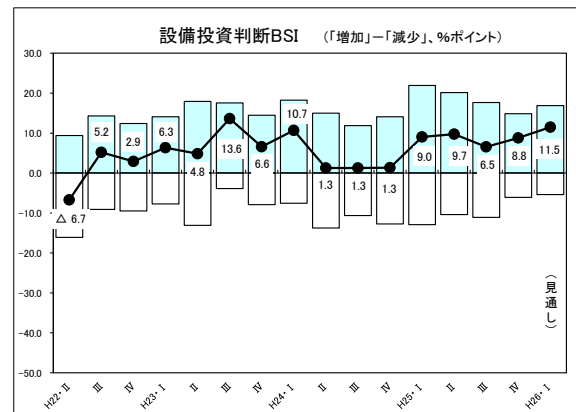
2 期ぶりに上昇し、来期も上昇の見通し。

＜今期実績(平成 25 年 10～12 月期)＞

今期の設備投資 BSI は、製造業が 12.0、非製造業が 5.5、全産業では 8.8 となり、前期実績を 2.3 ポイント上回った。前年同期実績は 7.5 ポイント上回る水準。指数自体は 14 期連続のプラス指数。

＜来期見通し(平成 26 年 1～3 月期)＞

来期の設備投資の見通し BSI は、製造業が 13.3、非製造業が 9.6、全産業では 11.5 となり、今期実績を 2.7 ポイント上回る見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	6.8	1.3	5.2	10.6
食料品	14.3	0.0	8.3	18.2
繊維製品	0.0	10.0	14.3	10.0
木材・木製品	△ 20.0	25.0	20.0	65.0
化学工業・石油製品	13.3	△ 16.6	19.0	16.7
金属製品	1.8	20.0	0.0	12.7
機械器具	19.0	△ 9.1	10.6	9.1
輸送用機械器具	20.0	△ 20.0	0.0	△ 25.0
その他	△ 0.4	0.0	△ 7.4	△ 0.4
非製造業	△ 2.4	4.1	9.4	△ 5.4
建設業	△ 7.7	0.0	7.7	0.0
卸売業	△ 10.6	△ 12.5	6.3	△ 25.0
小売業	10.0	0.0	10.0	0.0
運輸業	△ 35.0	37.5	△ 13.9	△ 7.5
サービス業 その他	11.8	11.7	22.6	1.8
合計	2.3	2.7	7.5	2.5

【設備投資目的】

1 位『維持更新』52.5%、2 位『能力増強』16.3%、
3 位『合理化・省力・省エネ・技術開発』13.8%、
4 位『新製品・新規事業』11.3%。

9. 雇用状況判断 BSI

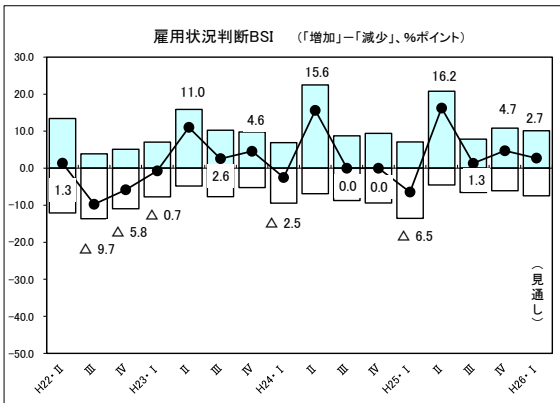
2 期ぶりに上昇も、来期は低下の見通し。

< 今期実績(平成 25 年 10~12 月期) >

今期の雇用状況 BSI は、製造業が 5.3、非製造業が 4.1、全産業では 4.7 となり、前期実績を 3.4 ポイント上回った。前年同期実績は 4.7 ポイント上回る水準。指数自体は 3 期連続のプラス指数。

< 来期見通し(平成 26 年 1~3 月期) >

来期の雇用状況見通し BSI は、製造業が 5.3、非製造業が 0.0、全産業では 2.7 となり、今期実績を 2.0 ポイント下回るも、指数自体は 4 期連続のプラス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	0.1	0.0	△ 1.5	9.3
食料品	1.2	△ 8.3	△ 16.7	45.5
繊維製品	△ 11.1	10.0	△ 14.3	△ 10.0
木材・木製品	△ 15.0	△ 50.0	45.0	△ 5.0
化学工業・石油製品	3.3	16.7	△ 16.7	0.0
金属製品	△ 7.3	△ 10.0	△ 10.0	△ 26.4
機械器具	0.0	9.1	△ 8.3	0.0
輸送用機械器具	0.0	20.0	20.0	45.0
その他	18.4	0.0	12.6	24.7
非製造業	6.7	△ 4.1	10.7	8.8
建設業	9.6	△ 8.3	25.0	23.4
卸売業	△ 12.2	6.3	6.2	0.0
小売業	25.5	△ 10.0	5.0	10.0
運輸業	10.0	△ 12.5	11.1	△ 2.5
サービス業 その他	0.0	0.0	10.4	9.3
合計	3.4	△ 2.0	4.7	9.2

10. 採算判断 BSI

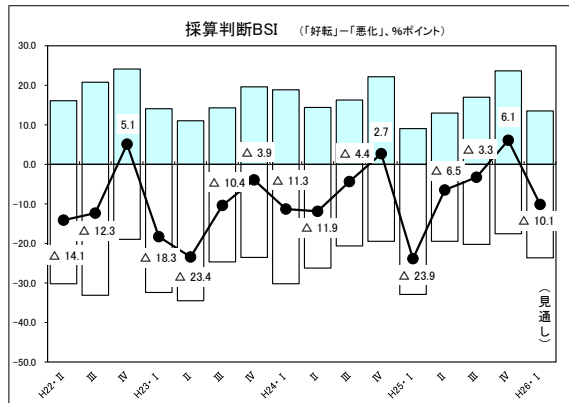
3 期連続で上昇も、来期は低下の見通し。

< 今期実績(平成 25 年 10~12 月期) >

今期の採算 BSI は製造業が 5.3、非製造業が 6.8、全産業では 6.1 となり、前期実績を 9.4 ポイント上回った。前年同期実績は 3.4 ポイント上回る水準。指数自体は 4 期ぶりのプラス指数。

< 来期見通し(平成 26 年 1~3 月期) >

来期の採算見通し BSI は、製造業が △ 12.0、非製造業が △ 8.2、全産業では △ 10.1 となり、今期実績を 16.2 ポイント下回り、指数自体も 2 期ぶりのマイナス指数となる見通し。



業種	各期の前期比		各期の前年同期比	
	今期	来期	今期	来期
製造業	9.2	△ 17.3	6.7	20.0
食料品	16.7	△ 41.7	8.4	56.8
繊維製品	△ 21.1	20.0	△ 24.3	40.0
木材・木製品	△ 35.0	△ 75.0	5.0	30.0
化学工業・石油製品	△ 30.0	0.0	△ 35.7	△ 21.4
金属製品	10.9	0.0	10.0	38.2
機械器具	0.8	△ 18.2	17.4	△ 9.1
輸送用機械器具	0.0	0.0	20.0	30.0
その他	61.4	△ 29.4	24.3	0.7
非製造業	9.4	△ 15.0	0.2	8.1
建設業	△ 25.0	25.0	△ 25.0	6.7
卸売業	31.3	△ 18.8	12.5	18.8
小売業	9.2	△ 40.0	35.0	△ 15.0
運輸業	5.0	25.0	△ 2.8	40.0
サービス業 その他	11.8	△ 29.4	△ 33.3	7.4
合計	9.4	△ 16.2	3.4	13.8

(集計結果)

項目別BSIの全集計結果

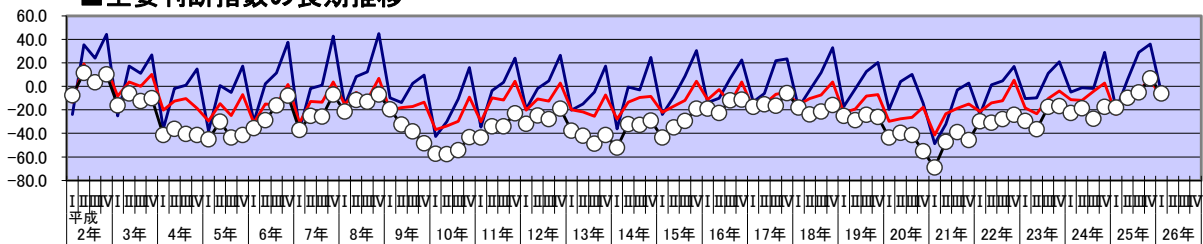
■今期(平成25年10~12月期) 企業経営動向実績(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	42.7	40.0	44.0	5.3	4.0	1.3	12.0	5.3	5.3	5.3
1. 食料品	50.0	50.0	58.3	△ 8.3	△ 8.3	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3
2. 繊維製品	30.0	30.0	70.0	△ 10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	△ 10.0	△ 10.0
3. 木材・木製品	75.0	75.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0
4. 化学工業・石油製品	16.7	16.7	16.7	16.7	△ 16.7	0.0	33.3	△ 16.7	△ 50.0	△ 16.7
5. 金属製品	50.0	50.0	50.0	20.0	20.0	△ 10.0	20.0	20.0	20.0	40.0
6. 機械器具	9.1	9.1	△ 9.1	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	9.1	0.0
7. 輸送用機械器具	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	△ 20.0	△ 20.0
8. その他	64.7	58.8	64.7	5.9	0.0	△ 5.9	5.9	5.9	17.6	5.9
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	△ 33.3	33.3	33.3	66.7
非製造業	-	-	27.4	4.1	4.1	△ 6.8	5.5	4.1	6.8	8.2
9. 建設業	-	-	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	25.0	△ 25.0	25.0
[卸・小売業 計]	-	-	55.6	5.6	5.6	△ 13.9	13.9	5.6	27.8	16.7
10. 卸売業	-	-	62.5	△ 12.5	12.5	△ 18.8	18.8	△ 6.3	31.3	31.3
11. 小売業	-	-	50.0	20.0	0.0	△ 10.0	10.0	15.0	25.0	5.0
12. 運輸業	-	-	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0
13. サービス業 その他	-	-	0.0	△ 5.9	5.9	△ 11.8	5.9	△ 11.8	0.0	△ 5.9
合 計	42.7	40.0	35.8	4.7	4.1	△ 2.7	8.8	4.7	6.1	6.8

■来期(平成26年1~3月期) 企業経営動向見通し(BSI)

業種/項目	受注高	生産高	売上高	在庫高	資金繰り	銀行借入	設備投資	雇 用	採 算	業界業況
製造業	△ 13.3	△ 12.0	△ 16.0	△ 8.0	6.7	△ 4.0	13.3	5.3	△ 12.0	△ 9.3
1. 食料品	△ 41.7	△ 25.0	△ 50.0	16.7	0.0	△ 8.3	0.0	0.0	△ 25.0	△ 8.3
2. 繊維製品	0.0	△ 20.0	△ 30.0	0.0	10.0	△ 20.0	10.0	10.0	10.0	0.0
3. 木材・木製品	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	25.0	25.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 25.0
4. 化学工業・石油製品	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	△ 50.0	△ 16.7
5. 金属製品	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	△ 10.0	40.0	10.0	20.0	20.0
6. 機械器具	△ 18.2	△ 9.1	9.1	△ 36.4	△ 9.1	9.1	18.2	9.1	△ 9.1	0.0
7. 輸送用機械器具	0.0	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	△ 20.0	△ 40.0
8. その他	△ 11.8	△ 11.8	△ 11.8	△ 23.5	23.5	△ 11.8	5.9	5.9	△ 11.8	△ 23.5
うち 紙・紙製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 50.0	△ 50.0
うち 窯業・土石製品	0.0	0.0	△ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 33.3	△ 33.3
非製造業	-	-	5.5	△ 11.0	△ 6.8	1.4	9.6	0.0	△ 8.2	△ 2.7
9. 建設業	-	-	50.0	△ 8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	41.7
[卸・小売業 計]	-	-	11.1	△ 13.9	△ 2.8	5.6	8.3	2.8	△ 2.8	13.9
10. 卸売業	-	-	25.0	△ 6.3	△ 6.3	12.5	6.3	0.0	12.5	31.3
11. 小売業	-	-	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	10.0	5.0	△ 15.0	0.0
12. 運輸業	-	-	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	12.5	△ 12.5	0.0	△ 25.0
13. サービス業 その他	-	-	△ 35.3	△ 11.8	△ 23.5	0.0	17.6	△ 11.8	△ 29.4	△ 58.8
合 計	△ 13.3	△ 12.0	△ 5.4	△ 9.5	0.0	△ 1.4	11.5	2.7	△ 10.1	△ 6.1

■主要判断指数の長期推移



— 売上高判断 — 採算判断 ○ 業界業況判断

(注) 26年 I は見通し

II. 経営上の問題点

1位は「原材料（仕入）高」（22.8%）、
2位は「過当競争」（18.3%）、3位は「販売（受注）不振」（12.2%）、4位は「製品（販売）安」（11.9%）、5位は「設備老朽化」と「求人難」（10.9%）であった。

円安などを背景とする原材料高の影響で「原材料（仕入）高」を経営上の問題点としてあげる企業の割合は高く、4期連続で1位となった。

「経営上の問題点」の推移

順位	平成25年/1～3月期		平成25年/4～6月期		平成25年/7～9月期		平成25年/10～12月期	
	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比	項目	構成比
1	原材料（仕入）高	18.9%	原材料（仕入）高	20.4%	原材料（仕入）高	24.3%	原材料（仕入）高	22.8%
2	過当競争	18.6%	過当競争	17.9%	過当競争	17.8%	過当競争	18.3%
3	販売（受注）不振	18.3%	販売（受注）不振	17.3%	販売（受注）不振	14.0%	販売（受注）不振	12.2%
4	製品（販売）安	14.5%	設備老朽化	12.9%	製品（販売）安	12.8%	製品（販売）安	11.9%
5	設備老朽化	10.1%	製品（販売）安	12.3%	設備老朽化	11.5%	設備老朽化	10.9%
6	求人難	5.0%	求人難	6.6%	求人難	8.7%	求人難	10.9%
7	金利負担増	2.5%	賃金上昇	3.5%	賃金上昇	2.5%	賃金上昇	5.8%
8	その他	2.5%	設備不足	2.2%	その他	2.2%	設備不足	1.6%
9	賃金上昇	2.5%	金利負担増	1.6%	金利負担増	1.6%	環境対応	1.3%
10	借入れ難	1.9%	その他	1.6%	設備過剰	1.2%	その他	1.3%
11	環境対応	1.6%	環境対応	1.3%	設備不足	1.2%	金利負担増	1.0%
12	設備過剰	1.3%	回収条件の悪化	0.9%	環境対応	0.9%	回収条件の悪化	0.6%
13	設備不足	1.3%	借入れ難	0.9%	回収条件の悪化	0.6%	借入れ難	0.6%
14	回収条件の悪化	0.9%	設備過剰	0.6%	借入れ難	0.6%	設備過剰	0.6%

企業経営動向調査概要

- ① 調査時期：平成25年12月9日～12月30日
（毎年3・6・9・12月実施）
- ② 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、売上高の増加・減少要因、設備投資目的、経営上の問題点
- ③ 調査方法：景況感についての調査
前期（平成25年7～9月）と比較した今期（平成25年10～12月）の実績及び今期（平成25年10～12月）と比較した来期（平成26年1～3月）の見通しを調査。
- ④ 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
- ⑤ 回答率：58.5%（回答148社）

業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	75	50.7%
食料品	12	8.1%
繊維製品	10	6.8%
木材・木製品	4	2.7%
化学工業・石油製品	6	4.1%
金属製品	10	6.8%
機械器具	11	7.4%
輸送用機械器具	5	3.4%
その他	17	11.5%
非製造業	73	49.3%
建設業	12	8.1%
卸売業	16	10.8%
小売業	20	13.5%
運輸業	8	5.4%
サービス業 その他	17	11.5%
合計	148	100.0%

(H26.1.20 主任研究員 高木俊裕)